

JIS

UDC 669.71-134:669.715-134

H 4140

アルミニウム及び アルミニウム合金鍛造品

JIS H 4140-1988

(1999 確認)

(2005 確認)

昭和63年8月1日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

非鉄金属部会 アルミニウム及びアルミニウム合金専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神尾 彰彦	東京工業大学工学部
	磯部 俊夫	磯部技術士事務所
	加藤 康宏	工業技術院標準部
	金子 純一	日本大学生産工学部
	河面 慶四郎	通商産業省基礎産業局
	本村 貢	早稲田大学理工学部
	石川 裕	古河アルミニウム工業株式会社
	大根田 昇	昭和アルミニウム株式会社
	島崎 禮次	三菱アルミニウム株式会社
	新庄 仁	日本軽金属株式会社
	永田 修身	住友軽金属工業株式会社
	横井 賢五	スカイアルミニウム株式会社
	吉賀 章政	株式会社神戸製鋼所
	石坂 喜昭	社団法人日本航空宇宙工業会
	久保田 豊	日本たばこ産業株式会社
	清水 精之	三協アルミニウム工業株式会社
	畑 年	社団法人自動車技術会
	増田 義典	社団法人日本電子機械工業会
	簗田 和之	社団法人軽金属溶接構造協会
	渡辺 聡明	日本製缶協会
(関係者)	井波 隆夫	社団法人軽金属協会
(事務局)	緒方 憲一	工業技術院標準部材料規格課
	坂元 耕三	工業技術院標準部材料規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和45.5.1 改正：昭和63.8.1 確認：平成11.11.20

官報公示：平成11.11.22

原案作成協力者：社団法人軽金属協会

審議部会：日本工業標準調査会 非鉄金属部会 (部会長 高橋 恒夫)

審議専門委員会：アルミニウム及びアルミニウム合金専門委員会 (委員長 神尾 彰彦)

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

アルミニウム及び
アルミニウム合金鍛造品

H 4140-1988

(1999 確認)

Aluminium and Aluminium Alloy Forgings

1. 適用範囲 この規格は、型打鍛造又は自由鍛造したアルミニウム及びアルミニウム合金の鍛造品（以下、鍛造品という。）について規定する。

備考 この規格の中で { } を付けて示してある単位及び数値は、国際単位系 (SI) によるものであって参考として併記したものである。

なお、この規格の中で従来単位及び数値と、その後 { } を付けて SI による単位及びそれに基づく換算値が示してある部分は、昭和 66 年 1 月 1 日以降、附属書に規定する単位及び数値に切り換える。

2. 種類及び記号 種類及び記号は、表 1 のとおりとする。

引用規格：JIS H 0001	アルミニウム及びアルミニウム合金の質別記号
JIS H 0321	非鉄金属材料の検査通則
JIS H 1305	アルミニウム及びアルミニウム合金の光電測光法による発光分光分析方法
JIS H 1306	アルミニウム及びアルミニウム合金の原子吸光分析方法
JIS H 1352	アルミニウム及びアルミニウム合金中のけい素定量方法
JIS H 1353	アルミニウム及びアルミニウム合金中の鉄定量方法
JIS H 1354	アルミニウム及びアルミニウム合金中の銅定量方法
JIS H 1355	アルミニウム及びアルミニウム合金中のマンガン定量方法
JIS H 1356	アルミニウム及びアルミニウム合金中の亜鉛定量方法
JIS H 1357	アルミニウム合金中のマグネシウム定量方法
JIS H 1358	アルミニウム合金中のクロム定量方法
JIS H 1359	アルミニウム及びアルミニウム合金中のチタン定量方法
JIS H 1360	アルミニウム合金中のニッケル定量方法
JIS H 1363	アルミニウム合金中のジルコニウム定量方法
JIS Z 2201	金属材料引張試験片
JIS Z 2241	金属材料引張試験方法
JIS Z 2243	ブリネル硬さ試験方法
関連規格：JIS W 1103	航空機用アルミニウム合金の熱処理